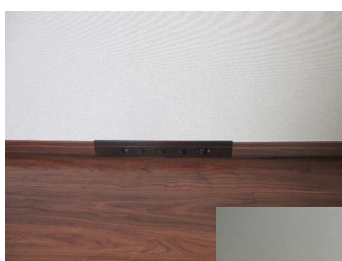


WB工法 『黒壁の家』……かつらぎ町・T邸



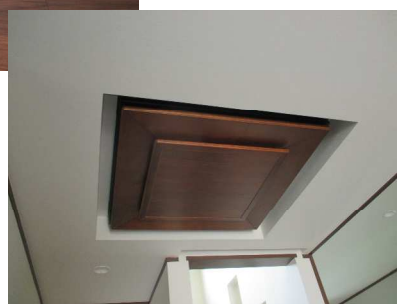
外観（全景）：道路から見る

知り合いの工務店さんから和歌山の家を依頼された。この地方の伝統民家は「黒漆喰」が多く使われている。ところが建築主（植木屋さん）は今風のモダンな家で地熱を利用するWB工法の家を希望。加えて省エネ補助申請付のメニュー。……という事情から片流れ屋根、規格シャッター雨戸付サッシを使ったシンプルな箱型に家になった。但し外壁は少しでも黒漆喰ならぬ黒色のK型角波金属サイディング張り+シルバーサッシを使って個性を出している。リビング脇にある2方向引き込み襖で囲まれた縁なし畳を敷いた四畳和室は、仕事から帰ると同時に「**ごろっと横たわる部屋**」として計画当初からの建築主不動産の要望。キッチンには近年デザインにこだわり始めたタカラ製。巾木のレグスターと空気を循環する天井の換気扇はWB工法の必需品だ。



巾木レグスター

四畳和室



天井換気扇

タカラ製キッチン

